

平成 30 年度岡山市市民協働推進モデル事業  
中間評価表

実施団体	特定非営利活動法人岡山ニャンとかし隊
協働部署	保健所衛生課
記入日	10 月 17 日（水） 10:00～12:00

1. 事業の目標と達成状況

目標	目標に対する現在の状況	今後の対応
飼い主のいない猫対策を地域で開始できるまでの導入パッケージの作成。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種資料が完成しており、講座で使用している。</li> <li>説明時間が短縮できるなどの効果が確認できた。</li> <li>講座参加者へのアンケートの結果からも「わかりやすさ」についてはほぼ問題ないと思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひきつづき、完成した資料を活用しながら必要に応じて微修正などを行う。</li> <li>資料が不足する場合は予算内で増刷を検討する。</li> </ul>
地域の飼い主のいない猫対策協力ボランティア育成のためのボランティア募集と「地域猫活動ボランティア養成講習」の開催。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア講習への参加者：10 名</li> <li>アンケート結果をもとに参加者へのフォローを実施する。</li> <li>現時点では自分の在住地域で活動をはじめたいという希望者が多く、他地域での活動を支援する意向がある参加者は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果などを参照しながら他地域でのボランティアの意思確認などを行なう。</li> <li>協働部署にて名簿管理の方法を検討する。</li> </ul>
ニーズ調査にて「地域猫活動」へ参加希望があった 65 地域が含まれる 5 小学校区にて「飼い主のいない猫対策」を開始するための支援・協力を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>伴走支援の要請は現在のところ 0 件。</li> <li>アンケート結果をもとに参加者が活動を開始できない理由を探り、フォローを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果をもとに必要とされる支援・サービスを検討する。</li> <li>地域猫活動の認定申請が 1 件あり。</li> </ul>
モデル地域での活動者アンケート調査 地域猫台帳による猫の数の変化を追う	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年 10 月時点で伴走支援の申込みがないため、アンケートを実施していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひきつづき活動を開始するための支援・協力を行いながらアンケートの回収につなげていく。</li> <li>地域猫台帳はモデル事業の評価には採用しない。（長期的な成果の確認についてはおおいに活用する。）</li> </ul>

## 2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック (できたものに☑)	指標 (※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。)
相互理解の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化している
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体のミッションを理解している (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 岡山市 (協働部署) の方針や計画を理解している (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われている。
目的共有の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体と協働部署が事業の成果・課題を定期的に共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを共有している。
対等の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 双方の合意によって役割分担が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体の意思・意見が尊重されている (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 協働部署の意思・意見が尊重されている (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していない (協働部署が回答)。
自主性及び自立性尊重の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されていない (実施団体が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されていない (協働部署が回答)。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されていない (実施団体が回答)。
公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されている。